

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年10月14日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0890500036		
法人名	アイリレー 株式会社		
事業所名	あいりレー・ケアホーム石岡	ユニット名	
所在地	〒315-0033 茨城県石岡市東光台2-8-3		
自己評価作成日	平成26年4月15日	評価結果 市町村受理日	平成26年10月10日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_021_kihon=true&JigyosyoCd=0890500036-00&PrefCd=08&VersionCd=021
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成26年5月21日	評価機関 決 済 日	平成26年9月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

介護保険法の理念に基づき、要介護・要支援状態になった場合においても、利用者が可能な限り在宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事が出来るよう、さらに利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持、並びにその家族の身体的、精神的負担軽減を図る為に、必要な日常生活上の世話及び機能訓練などの介護及びその他必要な援助を行っています。
また、適正な小規模多機能型居宅介護を提供することを目的とし、市町村及び地域の保健、医療、福祉サービスの綿密な連携を図り、利用者の立場に立ったサービスなどの総合且つ効果的に提供するように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

石岡の秋祭りには地域の神輿が事業所に立ち寄るほか、保育園児が年に数回来訪したり、ボランティアのリハビリ体操や折り紙の指導者、芸能ボランティアが多数来訪している。
中高生の職場体験学習やヘルパー2級など介護関係の資格取得に係る実習を通年受け入れているため、利用者は地域住民と日常的に交流をしている。
笠間稲荷の初詣や季節毎の花見、春と秋の良い季節には毎週利用者の希望を取り入れたドライブや年2回の外食など、外出の機会は多くなっている。
地域のスーパーや100円ショップに買い物に出かけるなど、利用者の馴染みの場所との関係が途切れないよう支援をしている。
防災訓練は年2回の総合訓練の他に、地震や火災を想定した災害別訓練を毎月実施しているほか、今後は雪災害を想定した訓練を取り入れることも予定をするとともに、事務室前の棚には防災頭巾がすぐに取り出せるように準備してあったり、AEDも設置してあるなど、防災意識が高い。
災害に備えて水や米、食料品等13品目を備蓄して数量や賞味期限を一覧表で管理しているほか、衛生用品や暖房器具、作業工具など、目的別に一覧表を作成して管理している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	施設内に理念の掲示 ①あなたの笑顔が見たいから、私も笑顔で接します。②地域との交流を大切に、共に楽しい時間を過ごします。③真心と、思いやりの対応で、安心と元気をお届けします。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所の理念を掲げ、玄関や廊下、事務所に掲示している。 朝礼時に職員は交代で3つの理念を一人一つ読みあげ、理念を共有して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	民生委員や近隣の方へ定期的に挨拶周りやお便りの配布を行っている。 地域ボランティアの方々との交流、運営推進会議を通じて地域交流に努めている。	リハビリ体操や折り紙等のほか、ギターやハーモニカ、歌、踊りなどの芸能ボランティアが月1回来訪している。 事業所で開催される秋祭りでは地域住民の参加を得られている。 石岡祭りの際は地域の神輿が事業所に立ち寄ってもらったり、市社会福祉協議会が主催するボランティア祭りには職員と利用者で出かけたりしている。 地域の保育園児が年3回事業所に来訪し、レクリエーション等で利用者とふれ合っている。 中高生の職場体験学習やヘルパー2級など、介護関係の資格取得のための実習を通年受け入れているため、利用者は地域の人々と日常的に交流をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近所の方へ日常の挨拶や、催し物の時などに声掛け等をして、気軽に立ち寄れる環境に努めている。 また、秋祭り等行事を通して、近所の方々との交流を図っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービスの内容が適正か否か、その範囲はどこまでなのか等、判断に迷う事について意見を出してもらっている。サービス内容について意見があれば、話し合いを通じて、新たにサービス内容に反映させていけるよう取り組んでいる。	運営推進会議は家族等の代表や市職員、民生委員、地域住民の参加を得て2ヶ月に1回隣接するグループホームと合同で開催し、事業所の運営状況や行事、利用者の生活状況などを報告している。 地域の小学校長や2ヶ所の保育園長、歯科医が会議に毎回ではないが参加している。 参加者より、「近隣住民が災害の時に事業所を利用できれば非常に助かるのでPRをして受け入れを増やして欲しい」等の意見が出されたり、「虐待・身体拘束について」や「感染症等の研修会」など、毎回テーマを決めて話しあい、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所のみで解決出来ないことや、行政を通じた支援を必要とする事も多々あるので、電話や窓口を訪ね、相談にのってもらっている。また、困難事例については、アドバイスをいただいたり、何か変更があった際には連絡するように取り組んでいる。	管理者は要介護更新認定の申請で市担当者を訪ねた際、利用者の生活状況などを報告したり、利用者の困りごとの相談をしたりしているほか、利用者の状態によっては、市担当者と職員で利用者の自宅を訪ねている。 サービスに関する質問などを相談したり、市担当者から情報提供を受けたりして日頃から協力関係を築けるように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に対するマニュアルを作成し、カンファレンスなどで職員研修を行っている。	身体拘束廃止に向けたマニュアルを整備し、年1回研修会を実施して全職員が身体拘束の内容と弊害を理解し、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 現在身体拘束をしている利用者はいないが、身体拘束が必要になった場合の「同意書」や「経過観察記録」、「再検討記録」等の書類を整備している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に対するマニュアルを作成し、カンファレンスなどで職員研修を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	内容は把握しているが、現在権利擁護を必要としている利用者がないため、活用までには至っていない。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、本人や家族と面談を行い、サービス内容、利用料金、利用者情報及び解約方法等の説明を十分に行い、理解・納得の上で署名捺印を頂く。解約時には、必要に応じて面談を行う。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	何でも言いやすい雰囲気作りを心掛けると共に、計画作成担当者が月に1回、ご自宅を訪問または電話にて意見・要望を聞き、その内容を職員会議にて話し合いをし、運営に反映させている。	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに玄関に意見箱を設置している。 利用者からは日々のふれあいの中で、家族等からは送迎時の会話や「連絡帳」で意見や要望を出してもらえるよう努めている。 「安全にトイレを利用できるように手摺を付けて欲しい」などの利用者の要望や意見を汲みあげ、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に各職員と話す機会を設けるように心掛けている。	代表者や管理者は全職員が参加する職員会議で職員の意見や要望、提案を出せる機会を設けるとともに、日頃から意見等を言い出し易いような関係づくりに努め、新人職員にはより多く声かけをするように努めている。 職員から設備関係の購入や、朝礼の際に「職場の教養の本を1節ずつ読んで個別ケアのサービスの向上に役立てては」との提案が出され、朝礼担当者が実施することになるなど、職員から出た意見や要望等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の実績、能力、勤務状況に合わせ、責任ある仕事を任せている。 また、年に1度賃金見直しをしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月のカンファレンスでテーマに基づき、研修を実施。他の施設での介護実習、茨城県高齢福祉課主催の実践者研修及び、地域の病院、団体等が主催する研修への受講推進。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	茨城県福祉介護事業共同組合に入会し、地域の同業者との情報交換やサービスの向上について取り組んでいる。 石岡市地域密着型サービス協議会に出席し、他の施設とも交流を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	話しやすい雰囲気作りを行い、コミュニケーションを密にとり、安心出来るように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	聞き取り等を行ってコミュニケーションを取り、サービス計画を行うように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を通じて、通い、訪問、宿泊サービスのどれが必要なのか、また小規模多機能以外の福祉サービスも考慮して対応している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自宅のような雰囲気作りをもたせることが出来るよう、私服にエプロンを着用して接している。また、出来ることを手伝ってもらったりしている。 (洗濯たたみ、台拭き等)		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者、家族の意見を聞き、必要に応じて中立的な立場で利用者、家族に助言を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用日に訪ねることが可能なことを伝えている。また、訪ねやすい雰囲気作りを心掛けている。	通いの利用者は知人や友人を事業所に呼んで談笑したり、職員は利用者の馴染みの書店に同行したり、一人住まいの利用者の手紙を投函する支援をしている。 職員と利用者で初詣には笠間に行ったり、石岡国分寺の花祭りに出かけたりするなど、これまで大切にしてきた利用者の馴染みの人や場所との関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	囲碁、将棋、習字、絵画、歌等、利用者が得意なことを行い、利用者同士の交流を図っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じ、訪問、電話連絡を行っている。入院、入所されている場合には、お見舞いや訪問に伺っている。 入所施設等に移る場合は、手続きを手伝っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	1日の終わりのミーティング、検討事項の中で話し合っている。必要に応じて、個別面接を行っている。また、カンファレンスや申し送りで職員が持っている情報や気付いた事を全員で共有するようにしている。	必要に応じて利用者と個別面談を実施し、職員は利用者の思いにそった支援に努めているが、新しく把握した利用者の情報を記録に残すまでに至っていない。 思いを表わせない利用者の場合は家族等から話を聞いたり、話し方や表情、しぐさなどから思いを推し測ったりして、利用者本位に検討して支援をしている。	日々新しく把握した利用者の情報が見易いように記録を工夫し、全職員で共用することを期待する。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ソーシャルワーカーからの情報収集、家族、本人との面談を行い、利用票を作成し、全員が把握出来るように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日の終わりのミーティング、検討事項の中で話し合っている。必要に応じて、個別面接を行っている。また、カンファレンスや申し送りで職員が持っている情報や気付いた事を意見に出してもらい、全員で共有するようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画作成時、ケースカンファの記録を元にしなが、職員、家族、本人からの意見を聞き作成している。区分変更や状態が変化した時は作成している。	介護計画は計画作成担当者が月1回利用者宅を訪問した際に、利用者や家族等の意見や要望を聞き、全職員でサービス担当者会議を開催して介護計画を作成し、家族等の同意を得ている。 6ヶ月毎にモニタリングを実施して見直している。 利用者の状態に変化が生じた場合は、随時現状に即した介護計画に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日誌、生活記録表や特記事項に記録して情報を共有し、実践や介護計画に結び付けている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	希望に応じて、送迎時間を変更したり、通所を休んだ時には、見守りの電話や訪問をして、様子を伺う。 希望があれば、夕飯の弁当を持たせたり、夕飯を食べて帰宅するなど、柔軟な対応をしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	保育園との交流会、民生委員や地域住民等へ運営推進会議の参加の呼びかけを行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	職員が必要に応じて定期検診に付き添い、受診状況の把握、医師との連携を図る。家族受診の場合は、事業所で気になることを受診時に対応してもらおうよう、家族との連携を図ったり、結果報告やお薬情報のコピーをもらうようにしている。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援しており、受診の際に家族等が同行する場合は、事業所で医師に聞いてほしいことを口頭や連絡帳で知らせている。 職員が同行した場合も送迎の際や連絡帳、電話などで家族等に報告し、受診結果は記録して全職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調の変化や悪化した時、看護職員の意見を聞きながら対応し、救急要請したり、受診したりしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	連携協力病院と連携。入院時には、本人の精神安定と状況把握のため、こまめに訪問し、早期退院を目標とする。また、ご家族とも連絡をとるようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族に方針を説明して、同意書をいただいている。条件により、受け入れも行っている。その際は、今後どのようにしていきたいかを確認し、医療機関との連携やご家族に情報を得るように心掛けている。	「ターミナル（重度化・終末期）ケアについての方針」を作成し、長期宿泊利用での看取りは行わないこととしている。利用者や家族等より強い希望がある場合のみ看取り介護を行うこととし、支援内容の記載や同意書も作成しているが、管理者及び職員ともに支援内容を確認するまでには至っていない。看取り介護についての研修は年1回実施しているが、マニュアルは作成されていない。	ターミナルケアについての方針を見直し、どこまで支援ができるのか、利用者がどのような状態になったら看取り介護を開始するのかなどを「ターミナルケアについての方針」に記載するとともに、マニュアルを作成し、利用者や家族等に説明して全職員で共有することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応マニュアルを作成し、カンファレンスなどで職員への研修を行っている。救急救命講習を受講している。避難訓練や毎月の防災訓練も行い、緊急時に備えている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策マニュアルを作成し、カンファレンスなどで職員の研修、再検討を行っている。	総合防災訓練は年2回実施しており、うち1回は消防署立ち合いのもと行われている。夜間想定訓練も実施しているが、近隣住民の参加は得られていない。毎月1回地震や火災を想定した災害別避難訓練を実施している。実施後は課題や反省点を話し合って記録し、改善に努めている。災害に備えて水や米、缶詰など食料品13品目を数量や賞味期限を記載した備蓄品リストを作成して管理しているほか、衛生用品や暖房器具、医薬品、作業工具などは目的別に一覧表を作成して管理している。防災頭巾は事務室の前に設置された箱にすぐ取り出せるように並べて保管している。	災害訓練に近隣住民の協力が得られるように運営推進会議等で検討したり、事業所に設置してあるAEDを活用する等、近隣住民の協力が得られるよう工夫することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いやイントネーション、会話の内容に配慮。個別ファイルの作成、個人情報取り扱いのマニュアルを作成。鍵のかかるロッカーに保存している。	利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。 個人情報取り扱いマニュアルを整備して年1回職員研修を実施している。 個人情報に関する書類は事務室の鍵のかかるロッカーに保管し、広報誌に載せる写真や事業所内に掲示する写真は書面で同意を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	コミュニケーションを密に取り、レクリエーションなどの参加を自己決定する場を作り出している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の声に耳を傾け、本人が希望する過ごし方を尊重し、利用者本位の生活が出来るようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理美容サービスの日を設け、希望者は施設内で散髪を行っている。希望する理美容店があれば、送迎対応もしている。買い物を行事に取り入れることにより、自分の好む衣料品等を購入したり、買い物代行なども行っている。本人が望めば、化粧等を行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お楽しみメニューや外食の日を設け、食の楽しみが出来るように支援している。お好み焼きなど皆で作って食べるような日を設けたり、食器の工夫もしている。出来る限り、テーブル拭きなど行ってもらっている。	献立は宅配業者により食材が事業所に届き、調理専門の職員が作っており、利用者の嫌いな食べ物は代替品で対応している。行事食を取り入れたり、天気の良い日のドライブにはお弁当を持参したり、利用者の希望を取り入れた外食は年2回実施したりして、利用者の楽しみとなっている。職員は利用者と一緒に会話をしながら和やかな雰囲気ですら食事ができるよう支援するとともに、利用者は能力に応じて下膳やテーブル拭きなどの役割を担っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の状況や習慣により、食事量を変えている。1日の中でのメインとなる昼食はカロリーを計算して提供。水分量は1日1500cc（通所・宿泊）、600cc（通所）を目安に提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	各自歯ブラシを用意していただき、食後の口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者票や情報提供票により排泄の状況を把握し、本人のADLの状況に合わせて時間にとらわれず、本人の尿意訴え時に対応、尿意のない方に関しては、声掛け誘導している。ADL低下を防ぐためにも、出来る限りトイレに行くようにしている。	職員は排泄チェック表を活用して利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、タイミングを見計らいながら声かけやトイレ誘導をしている。利用者の状態に応じたおむつやパッドの使用を検討し、使用量の軽減に取り組むとともに、できるだけトイレで排泄ができるよう支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体を動かすレクを取り入れたり、水分補給を勧めたり、場合によっては医療機関受診や服薬などの対応も行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	その日の体調や気分により入浴時間を決める。午前、午後希望など出来る限り本人の希望に合わせて行っている。また、女性の利用者様で男性職員では抵抗がある方は介助を女性職員対応で行っている。（逆の場合も同様）	サービス利用日であればいつでも入浴ができるよう、利用者の希望にそった時間帯の入浴を支援している。 入浴剤を取り入れたり、季節に合わせて菖蒲湯や柚子湯を取り入れたりして、寛いだ気分で入浴ができるよう工夫をしている。 浴室にシャワーチェアを配置したり、浴槽には手摺を設置したりして、利用者の安全に配慮しながら快適に入浴ができるように努めている。 入浴を拒む利用者にはタイミングを見計らいながら言葉かけを工夫し、無理のないように促している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各利用者の生活習慣を優先し、昼夜逆転しない程度の仮眠時間を設けている。その日の体調や状況に合わせて休息をとる場合などもある。また、ベッドや和室での布団対応など、本人の慣れた場所で休んでいただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別ファイルに処方箋を管理し、職員同士の情報共有に努めている。また、独居でご自分での管理が難しい方は薬の管理を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外食会、買い物など趣味や生活歴に合わせた行事やレクリエーションを企画し、行っている。個別に対応するケースもある。また、利用者希望を聞いて、考案している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外食会、ドライブ、花見、地域行事の参加、買い物など外出する機会を設けている。個別적으로는、市役所や理美容室など、希望によって対応している。	利用者は職員と一緒に近隣の散歩に出かけている。 笠間稲荷の初詣を始めとして、4月は地域の花祭り、5月はピクニック等の行事で出かけるほか、春と秋の季節の良い時にはドライブに毎週出かけて気分転換や五感刺激の機会としている。 職員は利用者と近隣のスーパーや100円ショップに出かけ、利用者自身で買い物ができるよう支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人が管理している方は、外出や買い物等行事の時、可能な限りご本人に会計を行ってもらっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時には、電話することを援助している。必要性があれば、手紙のやり取りができるように支援したり、手紙を出す時に代行したりしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	事業所内には特別なものを設置せず、一般の家庭と同じ家具を使用し、自宅と変わらない雰囲気になるよう工夫している。共有部分には、絵画や花や作品などを飾り、季節感を出してリラックス出来るような空間作りを行っている。また、センサー等は不快にならない音にするよう心掛けている。	玄関には長椅子が配置されており、廊下は車いすでもすれ違える広さとなっているため、利用者同士の出入りが楽にできるように配慮されている。 共用空間には複数のソファやテレビ、檜の箆笥のほか、神棚も設置されている。 壁には塗り絵や折り紙で作った花など、利用者の作品が掲示されている。 居間兼食堂に隣接して畳の和室が2ヶ所あり、鏡台や桐の箆笥が置かれているほか、床の間には人形が飾られている。 利用者の安全に配慮して廊下やトイレ、浴室には手摺を設置している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室や個室を設けているため、希望時には使用出来るようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内には、特別なものは設置せず、一般の家庭と同じ家具等を使用し、希望があれば使い慣れたものの持ち込みも配慮し自宅と変わらない雰囲気になるよう工夫している。	居室にはエアコンやベッド、寝具、テレビが備え付けられている。 泊りの利用者は1日から3日と短期間のため、持ち込みをする利用者はいないが、各居室毎に違う整理箆箆やテーブル、時計、カレンダーなどを備え、居心地よく過ごせる居室となるように工夫をしている。 管理者は使い慣れた物や好みの物の持ち込みが可能な事を利用者や家族等に伝えている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー、手すり、車椅子対応のトイレ、お風呂の表示、靴の名札などを設置。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 あいりレー・ケアホーム石岡

作成日 平成26年10月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	ターミナルケアの方針が明確でない。	出来ることと出来ないことを明確にし、同意書及びマニュアル作成を行う。本人及び家族から同意をいただく。	ターミナルケアの方針及び同意書を再度作成し、ご本人及びご家族から同意をいただく。またそれに沿ったマニュアルの作成を行う。	1年
2	23	個人の嗜好や特徴等は契約時だけでなく、変化や訂正があったらその都度個人ファイルへ記入した方が良い。	日々新しく把握した情報が見易いように記録を工夫し、全職員で共有する。	利用者様の情報を更新し、追記出来る欄を作成。カンファレンスで決まった内容を情報として記入する。	1年
3	35	災害時に近隣の住民やお店等と連携体制のお約束をした方が良い。	近隣へ伺う回数を増やし、地域と連携出来る施設を目指す。	避難訓練以外にも行事の時にお知らせを持っていき、近隣の方が日常より訪ねやすい雰囲気作りを行う。また、避難訓練時も内容を明確にし、興味を持てるように工夫する。	1年
4					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。